様式第４号（第12条関係）

事業者行動報告書

2023年　6月　22日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

東京都品川区東五反田2-18-1

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

東洋ガラス株式会社　代表取締役社長　野口信吾

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例〔第21条第１項／第22条第２項において準用する同条例第21条第１項〕の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	東洋ガラス株式会社　代表取締役社長　野口信吾
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	東京都品川区東五反田 2-18-1

１　事業所の概要

事業所の名称	東洋ガラス株式会社　滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県湖南市小砂町３番地					
主たる事業	細分類番号	2	1	1	4	窯業製品製造業・ガラス容器製造業
該当する事業者の要件	☑　原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☑　従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	□　任意提出事業者					

２　計画期間および報告対象年度

計画期間	2021年度　～　2023年度
報告対象年度	2022年度

３　計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とします。

標準様式第２号

（第１面）

1　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	設備導入	場内照明の一部をLEDへ入れ替えた。	2022年度
2	運用改善	圧縮エア供給ラインの見直しで、コンプレッサ運転台数を削減した。	2022年度
3	設備導入	送風機や搬送コンベアのインバータ化を実施した。	2022年度
4	設備導入	高効率ターボコンプレッサを導入した。	2022年度
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1		原料期限CO2の削減に向けて、市中カレットの使用率アップ、市中カレットの品質向上。	継続実施
2			
3			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

2022年度の目標0.605ｔ-CO2/生産量ｔに対して、実績は0.575ｔ-CO2/生産量ｔと達成した。アフターコロナの影響で生産量が増加し、原単位としては良い結果となった。また2022年度に実施した省エネ施策のみならず、これまでに実施してきたガラス溶解炉の更新工事の影響や高効率コンプレッサーの導入などの施策が、CO2排出量の抑制に寄与している。今後も省エネ、CO2排出量抑制の施策を推進する。